学校番号	3031

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済（東京書籍）						
副教材等	最新　政治・経済　資料集　2025　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会を良くするためにはどうしたらいいか。できるだけ多くの人が幸せに暮らせる社会を実現するにはどうしたらいいか。常にそうしたことを念頭に学習に取り組んでほしい。そのためには、教科書にある基礎的事項を理解するだけではなく、新聞やニュースにも関心を寄せ、「世間という書物」からも学んでほしい。現実は最良の教科書である。
・21 世紀をよりよい社会にするために、政治・経済の基本的知識を学び、現代の社会において何が課題となっているかを発見し、それらの諸課題に対して宇宙・地球規模での広い視野に立って考える力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するために、政治、経済、国際関係に関するこれまでの学問体系の概念や理論を良く理解し、物事をその本質から理解する。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断のための考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 日々変化する政治、経済、国際関係の事象に対して関心を持ち、多面的・多角的な考察や深い理解を通して課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半前期後半①	民主政治の基本原理と展開・日本国憲法と基本的人権	①民主政治とその基本原理 ②民主政治の展開 ③政治体制の比較 ④日本国憲法の基本的性格 ⑤基本的人権の保障 ⑥日本国憲法の平和主義	a: 市民革命以降、基本的人権が確立するまでの歴史的背景を理解し、日本国憲法の人権論ではどのような規定を設けているかを理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b: 日本国憲法下での基本的人権の意義について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う新しい人権のあり方について、社会の形成者としての観点から考察している。 c: 国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題 レポート

	日本の政治機構・政治参加と民主政治の課題	⑦国会のしくみと役割 ⑧内閣と行政機構 ⑨裁判所のしくみと人権保障 ⑩地方自治のしくみと住民生活 ⑪戦後政治と政党 ⑫選挙制度のしくみ ⑬世論と情報化社会	a:人権保障のために、日本国憲法の機構論ではどのような規定を設けているかを理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b: 日本国憲法下での立法、行政、司法、地方自治のあり方について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う日本の安全保障問題や、新しい法律の制定について、立憲主義の視点から考察している。 c: 国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート

前期後半②	国際政治の動向	①国際社会と国際法 ②国際社会の組織化 ③戦後国際政治の展開	a: 戦争防止のために人類が勢力均衡政策と集団安全保障という二つの方法を取ってきたことを理解している。現代において国際連合が果たしている役割について理解すると同時に、国連の限界や問題点についても理解している。国内法と国際法を比較し、国際法が置かれている現状について理解している。 b: イデオロギーの対立、領土問題、民族紛争、宗教対立など、世界のさまざまな紛争について、それらの平和的解決に向けてどのような方法がありうるのかを広い視点に立って考察している。 c: 冷戦時代や冷戦後の国際政治について、具体的な事件および紛争に関心を持ち、またその原因についても意欲的に理解しようとしている。現在、世界で起きているさまざまな出来事についても関心をもっている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題 レポート

	経済活動の意義と経済体制・現代経済のしくみ	①資本主義経済の発展と変容 ②経済活動の主体 ③現代経済のしくみ 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長 3 金融のしくみと働き 4 財政のしくみと租税 ④日本経済と福祉の向上 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障	a: 資本主義経済がどのように発展し、また発展に伴って生じたさまざまな弊害をどのように克服してきたか、その歴史的背景を理解している。市場の果たしている役割を認識すると同時に、政府もまた市場の失敗を補うために大きな役割を果たしていることを理解している。景気変動、経済成長、物価の動きなどを政策目標として財政・金融政策が実施されていることを理解している。資本主義社会における競争の意味とその限界について理解している。 b:政府が市場経済にどこまで介入すべきか、という視点から「大きな政府」「小さな政府」など、政府の経済政策のあり方について論理的に考察している。基礎理論を理解したうえで、中小企業問題、農業問題、労働問題、社会保障問題、環境問題などの諸課題について広い視点に立って考察し、意見を表明している。 c:三つの経済主体がどのように経済活動を営んでいるについて理解した上で、財政、金融、労働、社会保障などの問題に深い関心を持つ態度を身につけている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題 レポート

前期前半前期後半①	民主政治の基本原理と展開・日本国憲法と基本的人権	①民主政治とその基本原理 ②民主政治の展開 ③政治体制の比較 ④日本国憲法の基本的性格 ⑤基本的人権の保障 ⑥日本国憲法の平和主義	a：市民革命以降、基本的人権が確立するまでの歴史的背景を理解し、日本国憲法の人権論ではどのような規定を設けているかを理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b：日本国憲法下での基本的人権の意義について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う新しい人権のあり方について、社会の形成者としての観点から考察している。 c：国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート
	日本の政治機構・政治参加と民主政治の課題	⑦国会のしくみと役割 ⑧内閣と行政機構 ⑨裁判所のしくみと人権保障 ⑩地方自治のしくみと住民生活 ⑪戦後政治と政党 ⑫選挙制度のしくみ ⑬世論と情報化社会	a：人権保障のために、日本国憲法の機構論ではどのような規定を設けているかを理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b：日本国憲法下での立法、行政、司法、地方自治のあり方について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う日本の安全保障問題や、新しい法律の制定について、立憲主義の視点から考察している。 c：国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度